

松下幸之助経営塾

【第二十二期】 2021年4月開講 特別講師



佐久間 昇二 (さくま・しょうじ) ぴあ株式会社 社外取締役

1931年、新潟県生まれ。54年、大阪市立大学経済学部を卒業。56年、同大学院経営学研究科修了後、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。83年、同社取締役・経営企画室長。86年、同社専務取締役。87年、同社取締役副社長。93年より株式会社WOWOW(当時は日本衛星放送)代表取締役社長に就任。以来、徹底したコスト管理と営業強化によって、倒産すら危ぶまれていた同社を再建に導く。社員に対しては、逆境こそ攻めの好機であると説く。同社の入社案内(97年)は、「ふつうの人生を送りたかったら、WOWOWだけはやめておきなさい」の言葉で始まり「それでもWOWOWでやりたい、キミを待つ」で終わっている。2001年より、同社代表取締役会長を務め、06年6月より、取締役相談役。08年6月より、ぴあ株式会社社外取締役(現任)。



田村 潤 (たむら・じゅん) 100年プランニング株式会社 代表取締役

1950年、東京都生まれ。成城大学経済学部卒業。73年、キリンビール株式会社に入社。95年、支店長として高知に赴任した後、四国4県の地区本部長、東海地区本部長を経て、2007年、代表取締役副社長兼営業本部長に就任。全国の営業の指揮を執り、09年、キリンビールのシェアの首位奪回を実現した。11年より100年プランニング代表。同年より、PHPゼミナール「経営道コース」で特別講話を担当し、経営者育成に取り組む。著書の『キリンビール高知支店の奇跡 勝利の法則は現場で拾え!』(講談社+α新書)はベストセラーとなる。近著で『負けグセ社員たちを「戦う集団」に変えるたった1つの方法』(PHP研究所)、『人生に奇跡を起こす営業のやり方』(PHP新書)がある。



中村 邦夫 (なかむら・くにお) パナソニック株式会社 客員、第6代社長

1939年、滋賀県彦根市生まれ。62年、大阪大学経済学部を卒業。松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。長年にわたり家電営業部門およびAV事業等に携わり、85年、家電営業本部東京商事営業所所長、87年、アメリカ松下電器副社長、89年、同社長を経て、93年に取締役並びにアメリカ松下電器会長、北米本部長に就任。その後、常務、専務、AVC社社長等を経て、2000年、第6代社長に就任した。「破壊と創造」を掲げて、家電流通改革をはじめ、大胆な事業再編・構造改革を断行し、ITバブル崩壊後巨額赤字に陥ったパナソニックグループをV字回復へと導いた。06年より会長、12年、相談役を経て、18年、特別顧問に就任し、20年に退任。その他、06年、日本経団連評議員会副議長を経て、07年、同副会長に就任し、日中経済関係の発展、経済法制の整備や道州制の推進などに取り組む傍ら、同年、地方制度調査会会長に就任し、国家的提言やビジョン策定にもかかわるなど、多方面に尽力。著書に『これからのリーダーに知っておいてほしいこと -松下幸之助創業者に学び実践したことから-』(2011年・PHP研究所)がある。



谷井 昭雄 (たにい・あきお) パナソニック株式会社 客員、第4代社長

1928年、大阪生まれ。48年、神戸工業専門学校(現・神戸大学工学部)精密機械科を卒業。敷島紡績(現・シキボウ)、東洋金網(現・トーアミ)を経て、56年、松下電器産業(現・パナソニック)に入社。70年、録音機事業部長代理(のち、事業部長)、72年、ビデオ事業部長を経て、79年に取締役就任。その後、常務、専務、副社長を経て、86年、山下俊彦社長に代わり第4代社長に就任。93年に相談役、2003年に特別顧問に就任し、18年退任。また、公益財団法人霊山顕彰会特別顧問、一般社団法人日中経済貿易センター特別顧問、公益社団法人ボーイスカウト日本連盟特別顧問などを務める。



戸田 一雄 (とだ・かずお) パナソニック株式会社 終身客員

1941年、大阪府生まれ。64年、滋賀大学・経済学部卒業、同年松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。営業第一線を経験の後、70年から設立の高級音響商品「Technics」の商品企画を以降16年間担当。本社スタッフ経験の後、88年、電化調理事業部長就任を皮切りに、白物家電、住宅設備機器、音響・映像・情報(AVC)機器 各事業の経営を担当。2003年、代表取締役 副社長に就任。国内営業統括、デザイン、ブランド、宣伝、物流を担当する傍ら、中村社長と共に 所謂「中村改革」を推進。全社重点商品開発、松下電工と松下電器の合併、国内営業流通改革、石油温風器事故対策 等、多くの改革を推進した。「全ての改革の原点は、『松下幸之助経営哲学の現場実践にあり』の実証者を自認する。06年、松下電器・副社長退任。その後ネット通販大手のアスクル株式会社・社外取締役就任し、19年退任。その他外部活動としてユニバーサルデザイン協議会・議長、日本・ベトナム ビジネスサポートセンター会長、滋賀大学特任教授、学校法人「文化学院」理事長、等を歴任。パナソニック(株)終身客員。



岩井 虔 (いわい・けん) 株式会社PHP研究所 客員

1936年、満州ハルビン生まれ。千葉県、徳島県で育つ。58年、京都大学教育学部卒業ののち、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。61年、株式会社PHP研究所へ出向し、研究、編集、国際、研修部門を担当する。92年、同研究所専務取締役・研修局長を経て、97年に退任。同研究所顧問を経て、2009年より、現職。PHP研究所の所長であった松下幸之助に、28年間直接薫陶を受けつつ職務を担当。特にここ四十数年は、PHPゼミナールなど、主として企業人のための研修、講演に携わっている。著書に、『そう考えると楽ですね——松下幸之助との日々』(2006年・PHP研究所)。

※肩書きは、2021年4月時点のものです

松下幸之助経営塾

[第二十二期] 2021年4月開講 特別講師